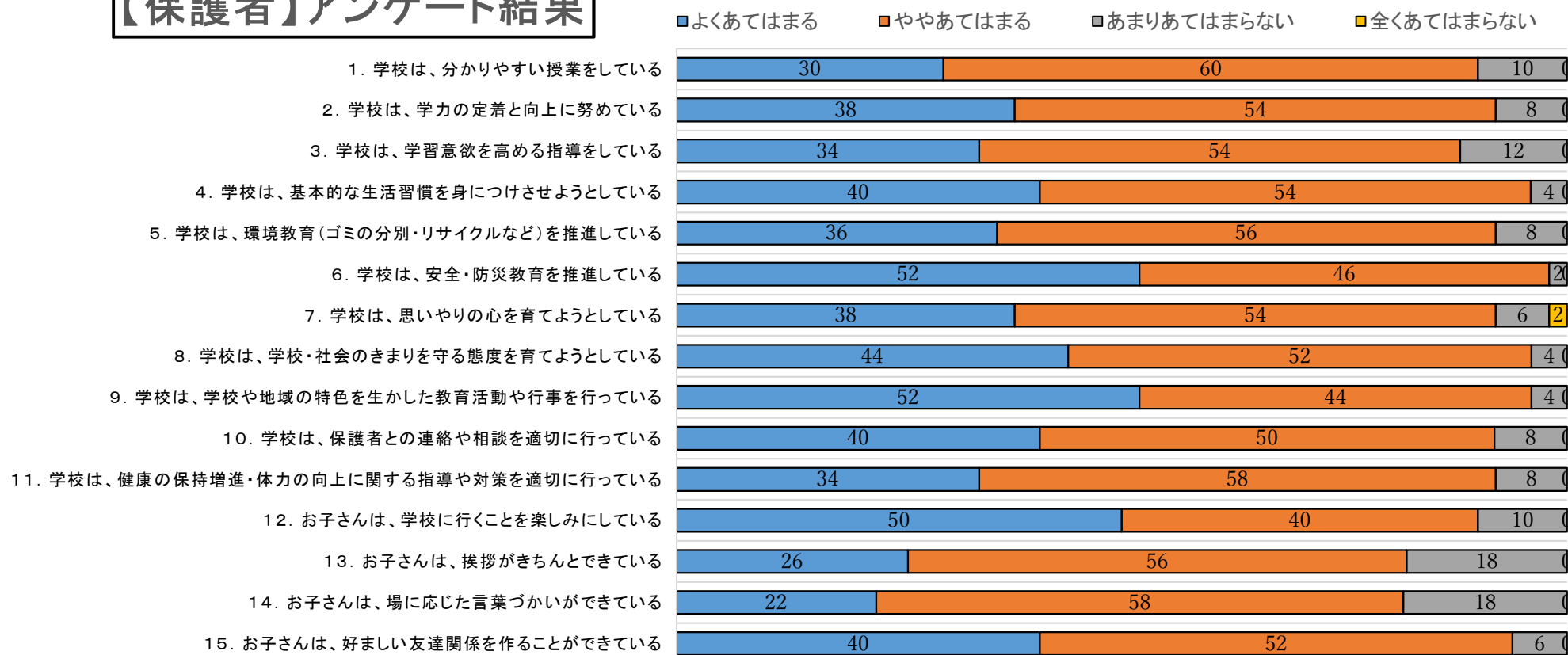


令和5年度 学校評価アンケート結果

実施期間：令和5年10月25日～11月8日

アンケートにご協力いただきありがとうございました。この結果を教職員で共有し、今後のよりよい学校教育活動の取組に向けて、次年度の計画に活かしていきたいと思います。

【保護者】アンケート結果



◎「よくあてはまる」「ややあてはまる」の割合が高かった設問

- ・98%…学校は、安全・防災教育を推進している
- ・96%…学校は、学校や地域の特色を生かした教育活動や行事を行っている
- ・96%…学校は、学校・社会のきまりを守る態度を育てようとしている
- ・94%…学校は、基本的な生活習慣を身につけさせようとしている
- ・92%…お子さんは、好ましい友達関係を作ることができる

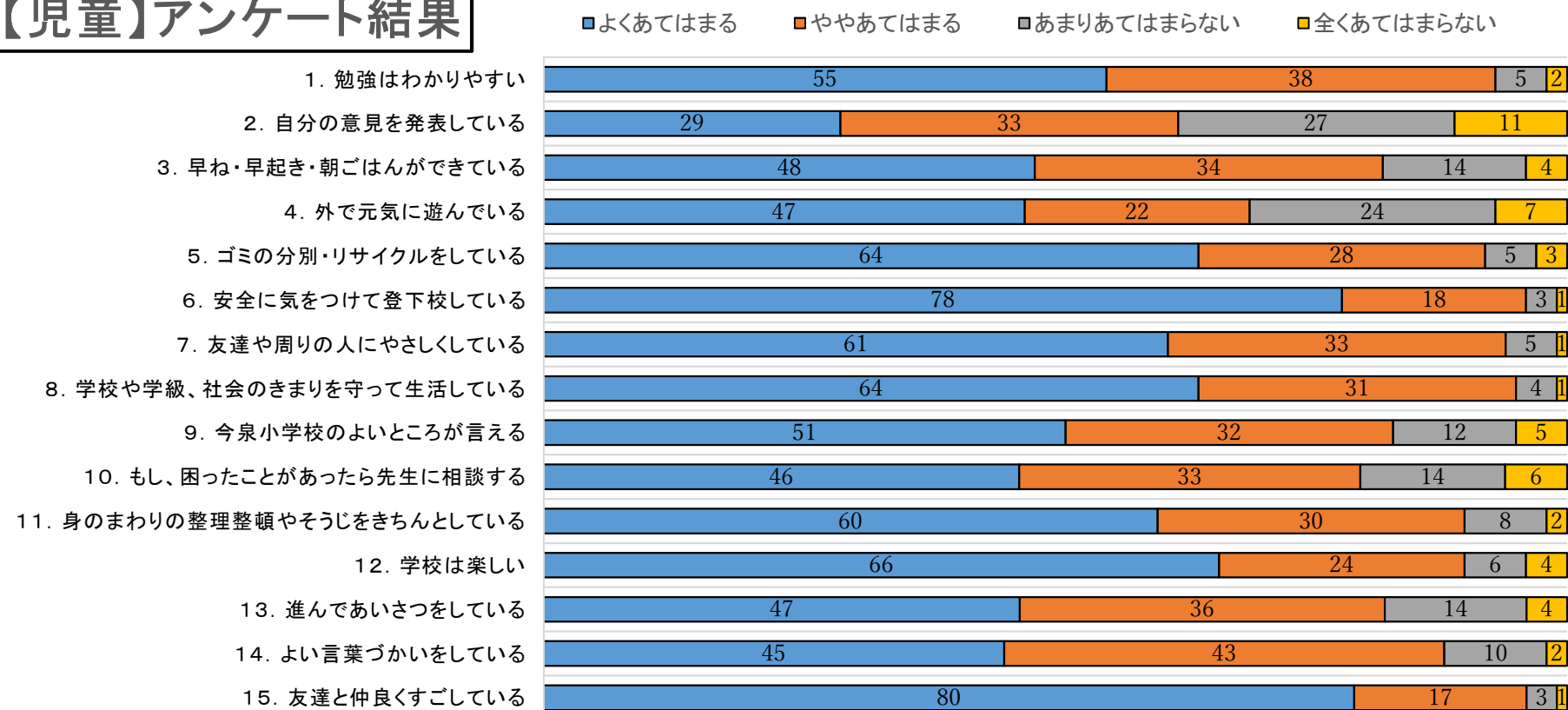
▲「あまりあてはまらない」「全くあてはまらない」の割合が20%以上の設問

- ・なし

【考察】

- 保護者アンケートの回答率が82%(前年は63%)あり、多くの保護者の意見が反映されているため、信憑性が高い結果と考えられる。
- 「よくあてはまる」「ややあてはまる」の割合が80%を下回る設問がないことは、本校の学校教育活動全体についての成果と考えられる。
- △児童の言葉づかいや挨拶については課題があり、今後も保護者と協力して、習慣として身に付けられるよう取り組む必要がある。

【児童】アンケート結果



◎「よくあてはまる」「ややあてはまる」の割合が高かった設問

- ・97%…友達と仲良くすごしている
- ・96%…安全に気をつけて登下校している
- ・95%…学校や学級、社会のきまりを守って生活している
- ・94%…友達や周りの人にやさしくしている
- ・93%…勉強はわかりやすい

▲「あまりあてはまらない」「全くあてはまらない」の割合が20%以上の設問

- ・38%…自分の意見を発表している
- ・31%…外で元気に遊んでいる
- ・20%…もし、困ったことがあったら先生に相談する

【考察】

- 登下校の安全についての意識が高いことは、駅付近で交通量が多い本校の学区の実態を踏まえると、大きな強みと考えられる。
- 友達と仲良くすごしている児童の割合がかなり高いことが、学校生活の充実や楽しさにつながっていると考えられる。
- △自分の意見を発表することに課題があり、さらに発表する場面をつくる学習活動等を取り入れるなど、指導の工夫が必要になる。